

お知らせ

組合費は毎月発送している振込用紙でお支払いをお願いします。次回は6月15日までに納めてください。

発行所

埼玉土建一般労働組合朝志和支部
〒351-0007 朝霞市岡3-24-37
TEL048-462-1303 FAX048-463-7059
《発行人》朝志和支部教育宣伝部
第193号 定価30円
(機関紙代は組合費に含まれています)
MAIL asashiwa@saitama-doken.or.jp

朝志和

仲間の組合に対する理解を深め

ゆるぎない3000人支部を目指し

仲間の要求と運動で 建設産業の民主化を



大会議事日程をする丸山実行委員長

5月16日(日)朝霞市民会館ゆめばれすで第17回支部定期大会が開催され、代議員42人・支部役員17人・特別代議員5人の64人が参加しました。今大会は新型コロナウイルス感染症防止のため規模縮小、時間短縮で行われ、例年だと午後は分科会を行っていましたが、午前中の全体会だけの定期大会となりました。丸山実行委員長のあいさつ、田野村資格審査委員長長の報告のあと、議長に渡利成人さん(宗岡)を選出し、議事に移行しました。田澤支部長のあいさつあと、木村本部常任中央執行委員から「一年以上続くコロナ禍により、組合の仲間の繋がりにには班会議がいかに大事かが再認識されています。少しでもコロナ禍以前の状況に戻していく必要があります」と来賓あいさつを頂きました。上蘭書記長による一般経過報告・制度改定などが報告されました。続いて小川財政部長より決算・予算予算案



冒頭の支部長あいさつ=田澤支部長

大会参加者の皆さん早朝よりお疲れ様です。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、埼玉土建の歴史上初めての本支部大会を書面開催となりました。今年は厳しい状況ながらも人数を絞って、時間短縮のうえ開催しております。緊急事態宣言、まん延防止措置など、我慢の自

労働者側に立った政治へ 田澤支部長あいさつ

大会参加者の皆さん早朝よりお疲れ様です。昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により、埼玉土建の歴史上初めての本支部大会を書面開催となりました。今年は厳しい状況ながらも人数を絞って、時間短縮のうえ開催しております。緊急事態宣言、まん延防止措置など、我慢の自

提案があり、全体会での専門部の提案がありました。専門部の提案も時間短縮のため新年度方針のみの提案となりました。質問・討論のあと、上蘭書記長による討論のまとめ、役員選挙へと続きました。今年は定数内の場合は信任投票は行わず拍手で確認となり、全員が信任されました。表彰では組織表彰として宗岡・和光北・朝霞北分会、教員表彰として志木分会、長年副支部長として奮闘されてきた野村副支部長の顕彰表彰が行われました。6月より所沢支部へ異動する渡邊書記あいさつ、栗田副支部長による決議案提案と採択、高橋副支部長によるスローガン案提案と確認がされました。最後に名雪常任執行委員によるサイレントでの団結ガンバローで閉会となりました。

支部資本従事者の会で現場の情報をつかみ大手企業交渉に取り組みます。年2回行うGOGO行動では地元現場訪問と懇談に取り組みます。GOGO行動の結果を自治体に戻し、「公共工事現場の賃金・単価の引上げ」「労働環境の改善」を求めます。公契約条例制定に向けては、朝霞市に対し重点的に対市交渉などの働きかけを行い、入札価格の適正化や地元優先発注を求めていきます。



田澤支部長(二役)

働くルールの前進に向け 賃金労働対策部

24年4月には建設業の働き方改革の猶予期間が終わるため、36協定の締結、就業規則などの「学習会」に取り組みます。また、建退共の普及や建設キャリアアップシステムの登録推進、アスベスト対策、不払いなどの「なんでも相談活動」も行っています。



感染対策をとり参加する代議員=朝霞市民会館にて

仕事と経営を守る取組み

技術住宅対策部

第44回ふれあい住宅デーは①住宅相談②安全安心のウォッチング③包丁研ぎのなかから一つ以上の企画で、6月13日の午前のみの開催となりました。安心安全のウォッチングは住宅デー開催日を中心に6月中の取り組みとし、分会で3カ所チェックし報告書の提出を求めます。

住推協の登録推進も引き続き行い、支部15社の登録を目指します。また、毎月の班会議資料として求人求職情報の発行



水野技住対部長

社会保障を守るたたかい

社会保障対策部

健康診断は5月から翌年3月まで計22回設定します。新年度も健診受診率70パーセントの目標を設定していきます。また、結果説明会への参加、結果票のコピー回収などを実施し、経過観察早期発見・早期治療につなげていきます。なお、新年度も健康診断の分会受付は中止とします。感染が収束した場合は分会受付の再開を予定します。

また、保険証渡し会の実施、集団インフルエンザ予防接種の検討をしま



高橋社保対部長

組織を強化するたたかい

組織部

朝霞・志木・和光市の人口は都心に近いこともあって3市とも増え続けています。大企業や他組合の組合員を除いても対象者はまだまだいます。「ゆるぎない3000人支部」を目指し、3年連続の実増を目指します。

また、新年度の組織建設目標は21年3月現勢の1パーセント実増を目指し、運動をすすめます。また、仲間の組合に対する理解を深め、土建国保をはじめ、どけん共済業務や運動など組合へ魅



名雪組織部長(代理)

共済活動の強化・発展を

共済部

年度初めの部長会議で「総合共済の種類と内容」「申請書の書き方」の学習を行います。

6月から12月を「自動車共済見直し運動」「火災・地震共済」の推進、1月から5月に「サイクルン」「こくみん共済」の推進を行います。また、どけん共済会20周年大抽選会を行います。

2つ以上の業務を活用し、21年春夏号のたすけ愛☆通信に応募方法が記載されますので、ぜひ応募してください。

制度改定として①組合



高橋共済部長

次世代からの活動家作り

次世代対策部

これまでの様々な運動を通して発展してきた「次世代の運動参加」と「次世代の役員選出」を一層広げていきます。合わせて、次世代の仲間の分会活動への参加を広げ、分会との結びつきを強め、「分会と結びついた活動家づくり」の前進を目指します。

毎月1回の次世代部長会議開催や次世代層の要求をくみ取った行事を企画し、結果を意識して取り組みます。活動家育成の観点から本部が取り組み



丸山副支部長(二役)

教育宣伝と学習活動

教育宣伝部

支部機関紙の定期発行を行います。感染の一定の収束が見通せる時期までは現状の2面建てとし、新年号は20年と同様に郵送します。また、4面建てに戻す際に毎月行っていた「我が家のアイドル」「我がふるさと」「写真シリーズ」を再開します。「組合員紹介」については終了とし、別の企画とします。別の企画は教宣部長会議を行い討議してまいります。

毎年行っていた分会ニュース作成会、労働学校については感染収束が一



高橋教宣部長

財政活動について

財政部

組合員として組合費納入を班会議で行うことを徹底し、納入率向上を目指します。毎月の未納者リストを分会に配布し、訪問または対話で状況を聞きながら組合の納入ルールを理解してもらおうことを努力します。事業所を脱退する従業員や国保を脱退する仲間には「建設業を続ける」なら組合に残れることを伝え、組合のメリットを説明してまいります。

5月末に開催する「新役員学習会」では納入ルールと実務の仕方を学習します。

分会財政については最低ルールを守りながら分会活動が前進する運営をはかっていきます。分会財政は組合費と異なり、盗難保険の対象とはなりません。できる限り分会口座を利用し、手持ち現金は最小限とします。



小川財政部長

第17回朝志和支部定期大会

支部長	田澤 達好
副支部長	栗田 伴春
	高橋 文雄
	丸山 勝己
書記長	上蘭 晃勇

書記次長	井口 尚久
	小須田 恵美
	佐藤 吉剛
常任執行委員	相浦 信幸
	小川 俊男
	高橋 孝雄
	高橋 洋

役員一覧
常任執行委員
高橋 稔
名雪 正昭
西 慶晴
水野 高
藤原 忠夫
会計監査
中村 次男
西 静子
森田 十四男